

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和5年度農作物病害虫発生予察情報について

令和5年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号を公表したので送付します。

令和5年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号

令和5年10月20日  
徳島県

1 病害虫名

レタス疫病 (病原菌: *Phytophthora pseudolactucae*)

2 発生作物

レタス

3 発生地域

阿波市

4 発生概況

令和5年1月、徳島県阿波市のレタスにおいて収穫前の株が萎凋する症状が発生した(図1)。徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所で分離し、東海国立大学機構 岐阜大学に同定を依頼したところ、本県では未発生の *Phytophthora pseudolactucae* によるレタス疫病と判明した。

本病の発生は、これまでに兵庫県(平成17年)、香川県(平成25年)で確認されている。

5 病徴及び病原菌の生態

- (1) 本病は主に厳寒期(1~3月)のトンネル栽培の作型に発生し、髓部を侵し、萎凋症状を呈する(図1)。
- (2) 株の萎凋症状が見られても、根張りは良好であり、菌核、孢子及び菌糸も認められない。萎凋した株を縦に切断すると、髓部が褐色から黒色に変色している(図2)。
- (3) 症状が進むと葉や茎の基部が黒変し、株全体が黄化して枯死する。
- (4) 本病は卵菌類の一種で、土壌伝染性の病害である。発病した株に形成した遊走子の中から遊走子が放出され、水媒伝染する(図3)。
- (5) 土壌中の卵孢子(図4)が伝染源となるため、前年に発病した圃場に植え付けすると再発する。

## 6 対策

- (1) 現在、本病に対する登録薬剤はない。
- (2) 市販の簡易キット（agdia 社製）で簡易診断が可能なので、発病株の早期発見に努め、発病株は圃場外へ持ち出し適正に処分する。
- (3) 一般的に疫病は、排水不良により発生が助長されるので、耕盤破碎や畝を高くするなど排水対策を行う。
- (4) 夏期に太陽熱消毒または土壌還元消毒をする。
- (5) 汚染土壌を未発生圃場へ持ち込まないよう農機具等は洗浄する。
- (6) 育苗は発病圃場から隔離した場所で行い、無病培土を用いる。



図1 本圃での発生状況

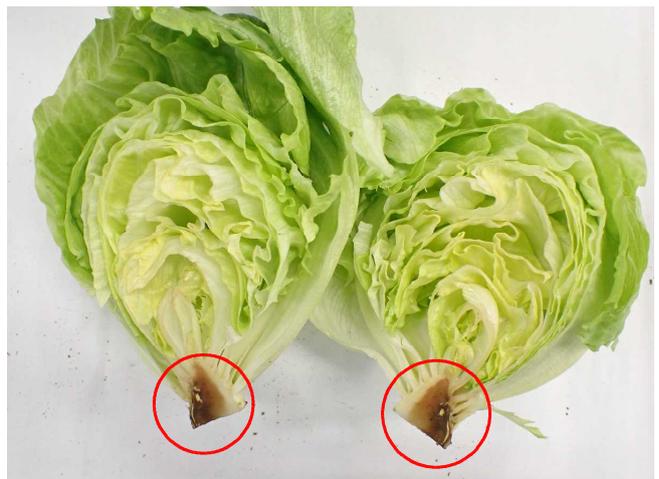


図2 髓部の褐変症状

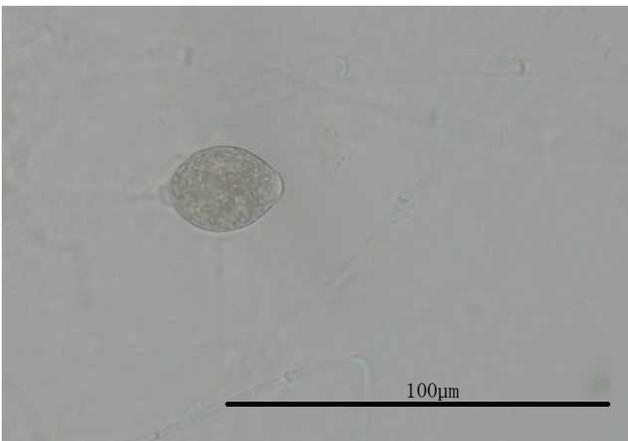


図3 V8培地上に形成された遊走子のう



図4 V8培地上に形成された卵胞子